

《女川原子力発電所2号機の安全対策の”いま”を紹介します～電源確保編～》

”電源の確保”は、原子力発電所の安全を守るために重要な対策の一つです。そこで今回は、2号機で進めている安全対策工事の中から「電源確保対策」についてご紹介します。

東日本大震災前からの電源確保対策

- 発電所外部から送電線(5回線)を介して発電所へ電気を送ることができるようにしています。
- 発電所外部からの電力供給が停止した場合でも、発電所内にある非常用ディーゼル発電機(1～3号機合計で8台)が自動的に起動し、各設備へ電力を供給します。

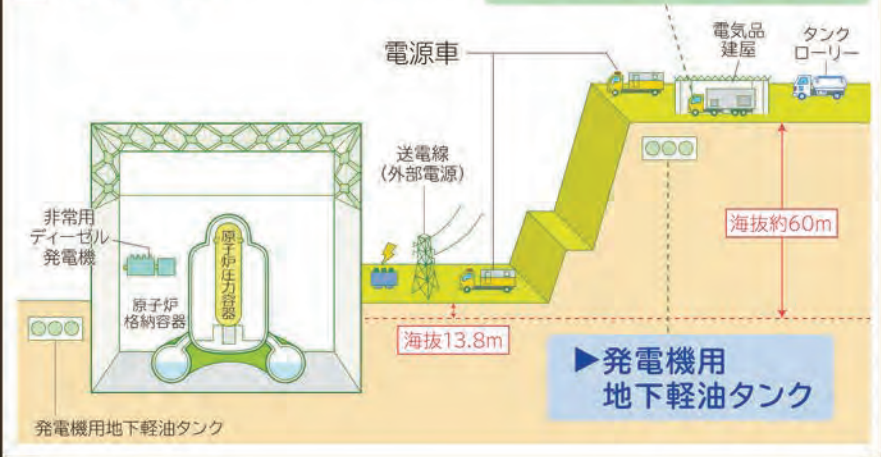


さらなる電源確保の多様化

- 津波の影響を受けにくい高台に、異なる種類の電源装置を設置し、発電所の安全に必要な電源を確保します。

電源の例 ・ガスタービン発電機 ・電源車

主な電源確保の対策イメージ



2号機用のガスタービン発電機を設置

8月8日、2号機用のガスタービン発電機(発電機車と制御車で構成)2組を設置しました。本機は、送電線を介して送られてくる電気や発電所内の非常用ディーゼル発電機が使えなくなった場合に起動し、発電所の安全確保に必要な電力を供給するものです。

また、地震や津波などによる影響を防ぐため、ガスタービン発電機は海拔約60mの電気品建屋内に設置し、燃料となる軽油は隣接する敷地地下のタンクに保管します。

▶ 海拔約60mの電気品建屋に収納されたガスタービン発電機



▶ 発電機車



ガスタービンと発電機を搭載。1台あたりの出力は3,600kW、2台運転することで発電所の安全確保に必要な電力を供給できます。

▶ 地下軽油タンク



構内には、ガスタービン発電機2組を7日間運転できる燃料を確保しています。

▶ 制御車



発電機の出力を制御する装置などを搭載。発電機とともに起動し、出力の調整などを行います。

《こんにちは訪問を実施しました》



女川2号機の安全対策の概要などを説明

7月12日から29日にかけて、地域の皆さまへ発電所の状況を説明しながら、ご意見をお聴きする対話活動「こんにちは訪問」を実施しました。

1994年の開始から42回目となる今回は、発電所員延べ約200人が、女川町と石巻市牡鹿半島部の約3,800戸を訪問し、女川2号機の安全対策工事の概要などについて説明しました。地域の皆さまからは、「安全を最優先に工事を進めてほしい」、「これまで同様にこまめな情報提供をお願いしたい」などのご意見をいただきました。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、今後の発電所運営に生かしてまいります。

《女川原子力PRセンター夏イベントを開催しました》

7月31日、8月1日の両日、女川原子力PRセンターにおいて、「夏休みワクワク体験教室2022」を開催しました。期間中、約140名の皆さまにご来場いただき、「手回し発電機を使った発電実験」や「ダンボール工作教室」、「ドローンの操縦体験」などのワークショップをお楽しみいただきました。



手回し発電機による発電実験



ダンボールでおもちゃ工作



ドローンの操縦体験

「女川町の魅力再発見動画 第4弾」公開中 ～ONAGAWA enJOINUS～

特定非営利活動法人アスヘノキボウ(女川町)と当発電所員有志が協働制作した、「女川町の魅力再発見動画(第4弾)」を同法人YouTubeチャンネルで公開中です。女川町の魅力がたっぷり詰まった内容となっておりますので、ぜひご視聴ください。

動画視聴は
コチラ



スーパーおんまえや

女川町民から愛される
地元密着スーパー



ほどまるしえ!

「食」と「出会い・コミュニケーション」
で町を盛り上げるイベント



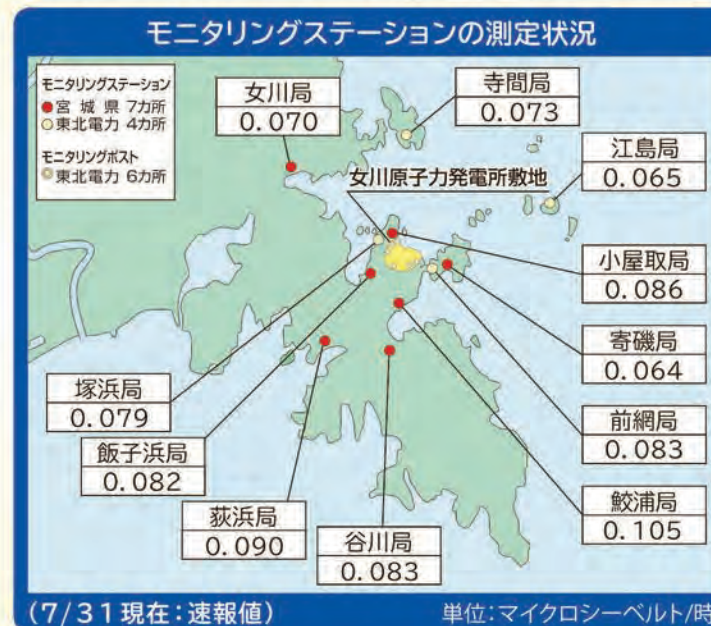
株式会社つなぐ

スポーツを通じ子どもたちの
生きる力を養うプログラムを提供

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2022年7月31日の測定値は、最大で0.046マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値※3

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	最小値	最大値
2011年3月11日	0.027	0.064
〈地震発生後最大値〉		
2011年3月13日	1.8	21※4
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉		
2012年4月1日	0.063	0.098
2013年4月1日	0.055	0.076
2021年4月1日	0.034	0.047
2022年4月1日	0.033	0.045
2022年7月1日	0.034	0.046
2022年7月31日	0.034	0.046

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02～0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっております。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。



再生紙を利用しています